



エキスパート教員に学ぶ！ 小学校外国語活動・外国語の授業づくり

西部教育局
お役立ち情報
令和6年3月号

令和6年1月22日(月)に第2回小学校英語専科等連絡協議会が行われました。そこでは、小学校英語専科教員による情報交換と小学校外国語活動・外国語のエキスパート教員である吉田勝雄教諭による実践発表が行われました。吉田教諭の発表の内容の一部を御紹介します。

1 授業づくりのポイント ～教師も児童も楽しい外国語活動・外国語～

- **外国語活動を通した学級経営** 人と人とのコミュニケーションを教えよう！
- **丁寧な慣れ親しみの言語活動** 児童をよく見て、言えているかどうかの確認を！
- **単元末の言語活動を意識** 「活動あって、学びなし」はダメ！
- **DDD(Demo-Drill-Do)の展開** 長い日本語の説明はやめよう！
- **ジェスチャー・教室英語の使用** 児童も教師もジェスチャーを使い、わかりやすい英語を！
実践発表スライドより



外国語活動・外国語の授業でのルール作りやコミュニケーションが、日々の学級経営につながっていると考えています。小学3年生から始まる外国語活動では、教師が児童のそばに行き英語を話しているか確認したり、児童と一緒に繰り返し英語を話したりするなど、特に丁寧に指導することが大切です。



吉田教諭より

2 校内での環境づくりのポイント ～誰でも取り組める外国語活動・外国語～

授業ツール



- **境港市外国語活動指導案集 (SEEL)**
 - ・SEELを基本とした授業を行うことで、小小連携及び小中連携が可能。
 - ・長休憩や昼休憩に授業の打合せができる。
 - ・付属CDファイルを使って、自分なりの授業を組立てることができる。
- **教材保管ファイルケース**
 - ・ユニットごとに教材をまとめて保管。「実践の積み重ね」と「準備の軽減」で学校体制化へ。
- **「めあて」と「授業の流れ」**
 - ・児童が、学習に対する意欲や見通しを持つことができる。
 - ・担任とALTは、Team-teachingをスムーズに行うことができる。
 - ・「振り返り」をする際に、児童は授業を想起しやすくなる。
- **「振り返り」(Reflection) シート**
 - ・「めあての達成」、「学習に対する主体性」、「コミュニケーションのポイント」を意識させる。
 - ・児童の学びの記録となり、分析を行うことで評価や授業のフィードバックに利用。
- **児童名札** 【3年と5年生の年度初めに作り、2年間ずつ使用。】
 - ・ALTや専科教員が、児童を名前で呼べる。
 - ・児童は、ハボン式のローマ字で自分の名前を読んだり書いたりできる。



実践発表スライドより

作成した指導案を保存・共有し、誰でも授業に取り組めるようにしています。また、ALTとの打ち合わせにも活用しています。全ての学級に、授業の流れを示す掲示物(黒板に貼る物)を準備しておき、授業で板書する際に使用しています。「振り返りシート」「名札」を校内で統一することで、進級しても同じものを使うことができます。



吉田教諭より



小学校では、コミュニケーションを図る**素地・基礎**となる資質・能力を育成することを目指します。吉田教諭の実践を参考に、学級経営や校内での環境づくりを大切にしながら、英語に慣れ親しみ、英語で伝えたいという意欲を育成する授業づくりを目指していただきたいと思います。
※**外国語活動**:コミュニケーションを図る**素地**となる資質・能力の育成 **外国語**:コミュニケーションを図る**基礎**となる資質・能力の育成